

# 総務文教常任委員会

## ふるさと納税寄付額さらに増加 約7億5千万円の見込み

12月定例会の総務文教常任委員会では、令和元年度一般会計補正予算などが審査されました。仙北市に対するふるさと納税が大幅に増加したことなどが議論されています。

ふるさと納税ふるさと便事業費	2億1,890万円
ふるさと仙北応援基金積立金	3億4,999万円
ふるさと納税の返礼品に係る費用及び基金への積立金。ふるさと納税寄付額が増加したことに伴う増額補正	
本庁舎維持管理費	597万円
西木庁舎の改修に関する実施設計費	
個人番号カード利用環境整備事業費	183万円
政府によるマイナンバーカードを使用した消費活性化制度の開始を控え、カード取得促進とマイキーID設定の支援事業費	
一般教育振興総務費	1,070万円
令和2年度から教科書改訂となるための指導書等の導入費用	

### ここが知りたい 議論のポイント

補正予算の主な質疑

**個人番号カード利用環境整備事業費 その内容は？**  
**質問** 2020年9月から政府によって実施されるマイナンバーカードとIDを使用した消費活性化策等を受けて、この度カード発行とID設定の支援を行うとのことだが、具体的内容について伺う。  
**答弁** 今回の予算は、マイナンバーカードの取得促進や、カードのICチップ中の電子証明書を活用して作成する「マイキーID」設定の支援に関する経費である。マイナンバーカードに設定したIDを利用して来年度実施予定の「マイナポイント」を活用した消費活性化事業の宣伝も今年度内併せて行う予定としている。  
 マイナンバーカードは身分証明書としての役目や、コンビニでの各種証明書の取得などに利用されているが、

取得率は全国で14.3%、秋田県内では11.1%、本市では10.2%と低調である。政府が来年度実施する消費活性化制度やその後2021年3月からは保険証としても利用可能となることから、カードの登録をさらに促進する必要があるため、市内の各庁舎において、専門家に依頼し、マイナンバーカードの発行手続きやマイキーIDの設定サポートを行う予定としている。消費活性化事業であるポイント還元制度「マイナポイント」は、カードにマイキーIDを設定し、スマートフォン決済と連携することで、2020年9月から2021年3月までの7か月間、対象限度額が2万円まで、最大5千円分が決裁後にマイナポイントとして還元されるという制度である。

**仙北市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について**  
**質問** この条例改正により、来年度から「会計年度任用職員」制度が採用され、これまで市役所臨時職員とし

て勤務している方々に対し、期末手当や交通費の支給が行われることとなるが、制度の概要や市の人件費、国からの支援等について伺う。  
**答弁** 市の人件費負担は増えることにはなるが、国で一定の手当はするとしている。しかし、具体的な額や率については、未だ示されていない。現在雇用されている人が会計年度任用職員となる場合、職員と同じ給料表を使う関係で、経験年数等により号級が決定するため、現在の給料と比較し若干の上下はあると考える。  
 契約は1年ごとに退職と更新できるため、3年間は継続雇用が可能である。手当支給は、雇用形態によって異なり、パート職員の場合、雇用保険は加入するが、退職手当はない。逆に、フルタイムで働く場合は、退職手当は出るが、雇用保険はない。雇用継続し3年で退職した場合、退職金が支払われるが、その後の募集に対して再度申込することも拒むことはできない。

# 市民福祉常任委員会

## 地域生活支援事業費等の追加補正を審査

12月定例会の市民福祉常任委員会では、条例の一部改正案や令和元年度補正予算案などが審査されました。また、田沢湖デイサービスセンターの指定管理者の指定についても審査されました。

主な内容	地域生活支援事業費	254万円
	生活支援サービス利用者数の増に伴う委託料の追加	
	認可保育園等管理費	13万円
	ひのきないこども園の救護用ベット購入費	
	保険事業総務費	328万円
健康管理システムに母子保健情報連携機能を追加するためのシステム改修委託料の追加		
西明寺診療所管理運営費	85万円	
検査項目増加に伴う委託料の追加		



■訪問入浴サービス車

### ここが知りたい 議論のポイント

#### 補正予算の主な質疑

**地域生活支援事業費について**  
質問 入浴サービスが増えているが、その内訳は。

答弁 入浴サービスの事業は「県南ケアシステム」で行っている。一回あたりの単価が11,000円ほどで、月8〜9回の実績である。介護保

険加入者の訪問入浴であれば対象者がたくさんいるが、障害福祉サービスでは1人である。障害者の場合は施設に入っている方が多い現状で、若い方の在宅は少ないが、母親が頑張っておられるため、サービスを利用している。

質問 日中一時支援事業など、障害者福祉サービスは新たな事業なのか。それとも利用者が多くなつての補正なのか。

答弁 もともとメニューとし

てあった事業である。当初見込みより、日中一時支援事業は利用者数が増加した。訪問入浴サービスは回数が増加による補正である。

質問 利用状況はどれくらいか。

答弁 日中一時支援事業は半年で2人増えている。6事業所で行っており、一番多いのが「愛仙の華」で、12人が利用している。それ以外は1人から2人の利用である。

#### 認可保育園等管理費について

質問 ひのきないこども園で監査員からの指摘があったというが、その内容を問う。

答弁 ひのきないこども園は、当初ひのきない保育園として建設された。その後、認定こども園として0歳児から5歳児までを引き受けている。部屋のスペースが手狭なこともあり、職員休憩室に布団等を用意して子供を休憩させていたが、救護用ベットは備えておくべきとの指摘があり補正を計上するものである。

# 産業建設常任委員会

## JR東日本に西宮家の二つの蔵を貸し出し 2020年3月16日 JR東日本が宿泊施設開業

12月定例会の産業建設常任委員会では主に令和元年度一般会計補正予算や下水道・集落排水・浄化槽事業特別会計補正予算について審査されました。今回は主に、秋田県人事委員会の勧告に基づく給与等の改定や各課室の人事異動による人件費の補正でした。また、定例会の度に提案される第3セクター備品修繕や設備修繕について議論されました。

主な内容	都市農村交流施設管理運営費	55万円
	(株)アロマ田沢湖の除雪機修繕費	
	花葉館施設整備事業費	124万円
	花葉館の太陽光発電設備修繕費	
西宮家管理運営費	82万円	
	西宮家の倉庫増築及び公衆トイレ洋式化工事費	
中小企業活性化支援事業費補助金	420万円	
新規起業、新分野進出、事業拡張における補助金の増額		

### 「大瀬蔵野橋の架け替え工事費用見直しを求める請願」を不採択

**請願理由** 9月の定例会で大瀬蔵野橋の架け替え工事費が増額され8億円(辺地対策債の活用で市の負担は20%)になった。大瀬蔵野橋は交通量も少なく、冬期間は通行止めになる接続道路もある。市の財政事情も厳しく、他にも内川橋や中川地区の橋の早期改修を望む声が多いことから、大瀬蔵野橋の建設工事費を出来る限り縮減し、他の工事費用に振り向けることを請願する。

賛成	反対	結果
1	4	委員会不採択

**賛成討論** 一般質問でもっと工事費を抑えることができるのではないかを質問しており、辺地対策債が有利な財源だとしても借金は増えるし、工事費の縮減は当然のことなので、この請願には賛成である。

**反対討論** 9月定例会で、工事費が増額になる理由や冬期間に八割方面の道路が封鎖されるため、橋がないとこの集落は孤立することなどの説明を受けて可決されているので、この請願には反対である。但し、出来る限りの工事費のコストダウンに取り組むべきである。

**質問** ハーブ園の除雪機の修理費が補正予算提案されているが、今すぐにでも使用しなければいけない時期に提出してくるのはあり得ない。承認されなければ除雪機を使用しないのか。本来であれば、冬期終了後に修繕箇所を把握して予算化し、翌年の冬期前には万全の状態にするべきではないか。

**質問** 西宮家の二つの蔵はどうなる増額補正は、JR東日本への二つの蔵を貸付けることに関する工事なのか。



洋式化される西宮家の公衆トイレ

#### 補正予算の主な質疑

### ここが知りたい議論のポイント

かつたため12月補正での対応になってしまった。購入から10年以上が経過しており、本体の更新も検討する時期であるが、これまでも指定管理者側でメンテナンスを施してきたこともあり、機械の程度は良好であるため、修繕によりある程度長期にわたって使用可能と見込まれる。

**質問** 蔵の賃貸料は(株)西宮家の収入となるのか。

**答弁** 西宮家の蔵の所有者は仙北市であることから、仙北市の収入となる。普通財産の貸付けに関する規程に基づきJRから徴収する。